

I 科学研究について

1 科学研究とは

科学研究は、自然の事物・事象に関して

- ①児童自ら、課題を設定し
- ②児童自ら、解決方法（実験や観察の方法）を考え
- ③児童自ら、問題解決していく

問題解決学習ととらえています。

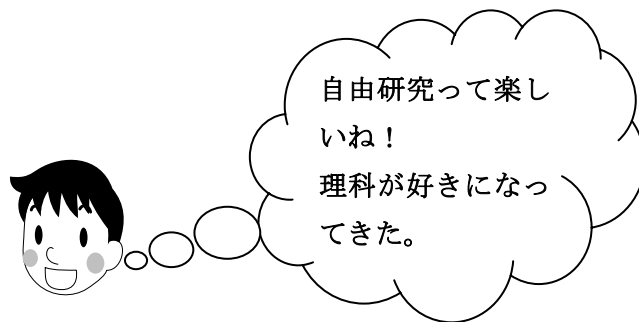


2 科学研究が目指すもの

科学研究を通して、

- ①理科が大好きな児童
- ②自ら考え、自ら学ぶ児童
- ③自由な発想ができる児童

の育成を目指しています。



3 科学研究の意義

科学研究は、児童が自由に研究テーマを選び、自らの発想に基づき、各自の能力と個性に応じて行うことができます。しかも、探究の全過程を経験することができ、問題解決能力を育成するうえで有効な方法です。また、科学研究は、問題解決の過程で、児童一人一人の発想が生かされ、創造性や独創性を発揮する機会も多くなります。

このことは、児童一人一人が個性を発揮する場を保障されることであり、日常生活において創造的に思考したり、判断したりして、行動できる能力と態度を身に付けることにつながると考えます。

4 科学研究と理科の学習との関係

科学研究で培われる問題解決能力は、理科で学んだ知識・技能を総合的に用い、問題解決を行うことを通して初めて身に付くものと考えます。

一方、科学研究を通して得られた自然への驚きや興味・関心、科学研究をやり遂げたという満足感、成就感、自信は、日常の理科の授業への学習意欲を更に高めることになり、主体的な学習のエネルギーになっていきます。

このように、理科の学習と科学研究は互いに補完的な面をもっており、両者が互いにかかわり合って指導されるとき、理科の目標はより豊かに達成されると考えます。